

# 表A6-1 先渡取引の例

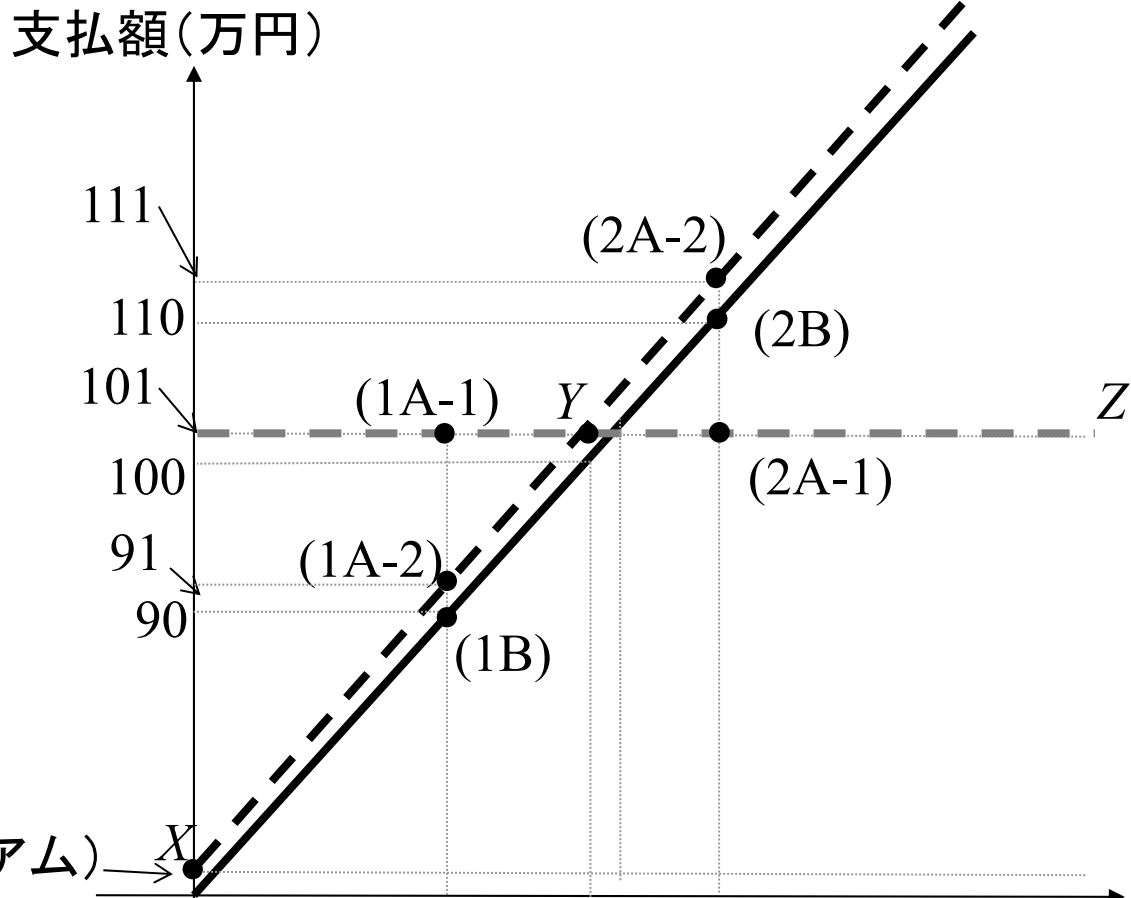
先渡契約X:「秋にできる米1000kgを1kg1000円で農家Aから買う」					
		(ケース1)現物価格1kg900円		(ケース2)現物価格1kg1100円	
		(1A)先渡契約Xあり	(1B)先渡契約Xなし	(2A)先渡契約Xあり	(2B)先渡契約Xなし
農家の収入 =米屋の支出		100万円 =1000kg × 1000円	90万円 =1000kg × 900円	100万円 =1000kg × 1000円	110万円 =1000kg × 1100円
契約Xを結ぶ場合の農家の損得		受け取り10万円増(得) (100万円-90万円)		受け取り10万円減(損) (110万円-100万円)	
契約Xを結ぶ場合の米屋の損得		支払い10万円増(損) (100万円-90万円)		支払い10万円減(得) (110万円-100万円)	

# 表A6-2 オプション取引の例

	先渡契約X:「秋にできる米1000kgを1kg1000円で農家Aから買う権利」					
	(ケース1)現物価格1kg900円			(ケース2)現物価格1kg1100円		
	(1A)オプションYの契約あり		(1B)オプションYの契約なし	(2A)オプションYの契約あり		(2B)オプションYの契約なし
	(1A-1)権利行使	(1A-2)権利行使せず		(1A-1)権利行使	(1A-2)権利行使せず	
農家の収入 =米屋の支出	101万円 =1万円 +1000kg × 1000円	91万円 =1万円 +1000kg × 900円	90万円 =1000kg × 900円	101万円 =1万円 +1000kg × 1000円	111万円 =1万円 +1000kg × 1100円	110万円 =1000kg × 1100円
米屋の選択	権利行使しない (91万円を選択)		/	権利行使する (101万円を選択)		/
Yの契約を結ぶ場合の米屋の損得	支払い1万円増(損) (91万円-90万円)			支払い9万円減(得) (101万円-110万円)		

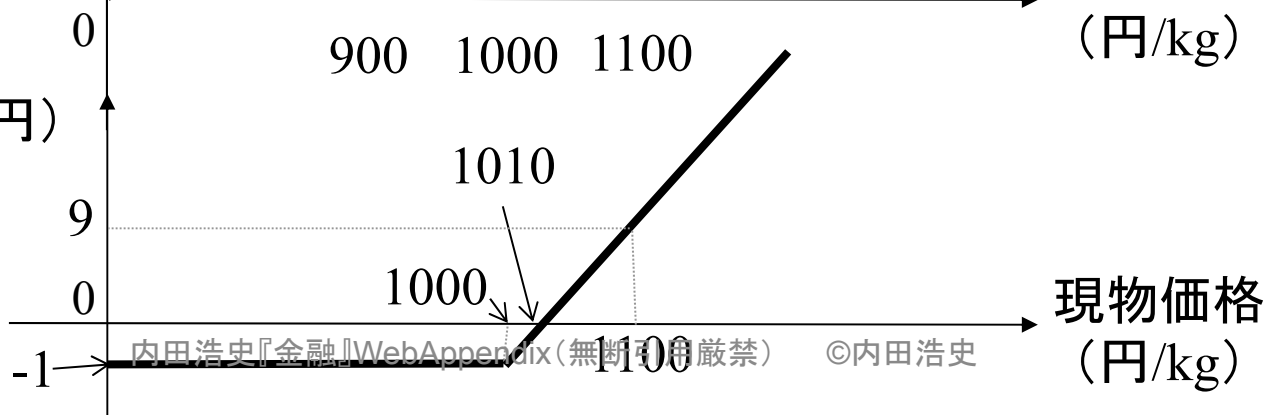
図A6-1 コールオプション(例)の支払額・利益

(a) 支払額

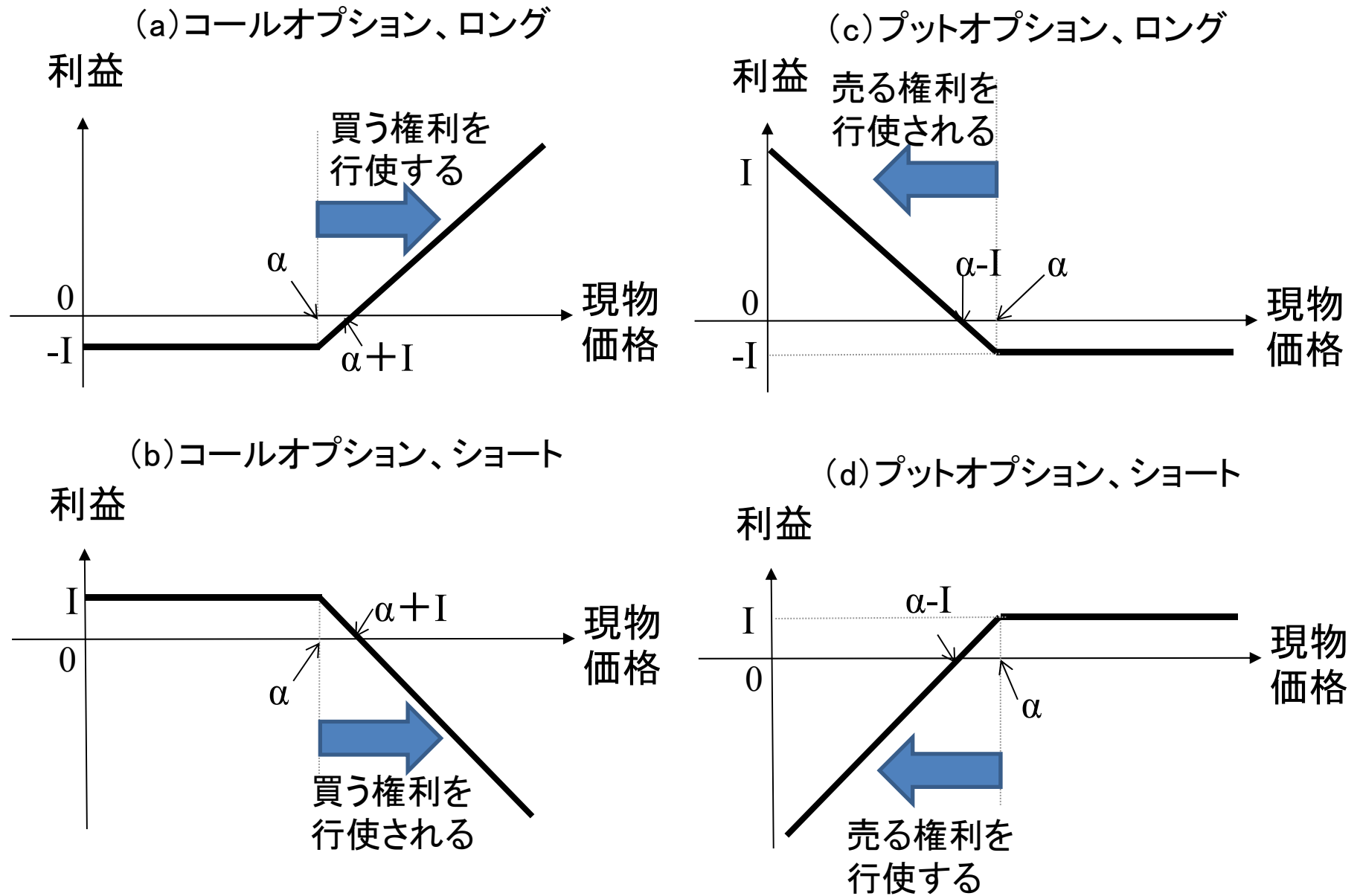


(b) 利益

利益(万円)



図A6-2 オプションから得られる利益



# 図A6-3 通貨スワップの例

(ケース1)通貨スワップなし

企業A  
借入X:ドル建て「1年後\$ 11万返済」  
(当初予想)\$1ドル=100円  
⇒1100万円の支払いを予想  
(その後環境変化)\$1=120円予想  
⇒1320万円の支払い予想

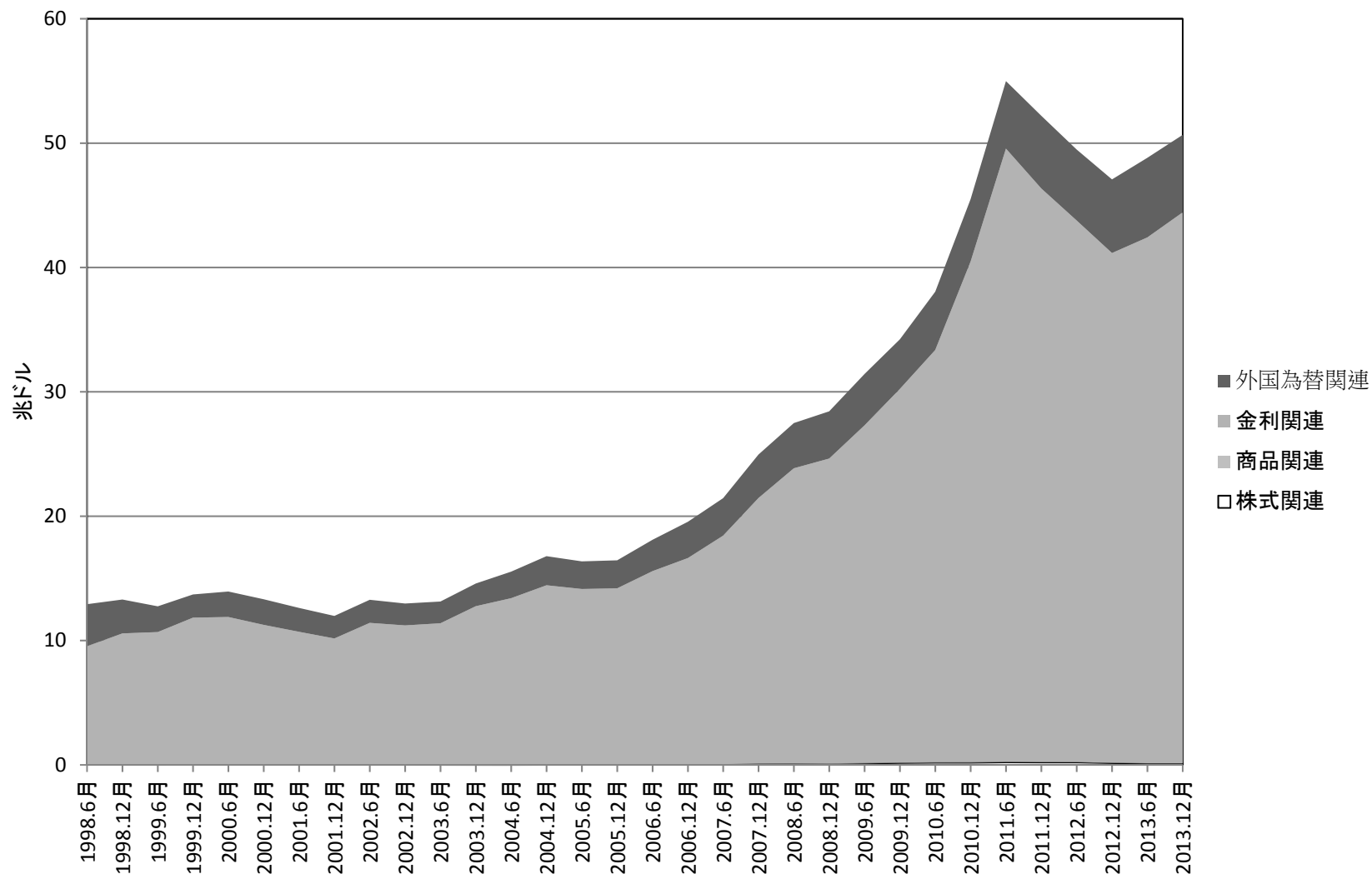
企業B  
借入Y:円建て「1年後1200万円返済」  
(当初予想)\$11万受取・1ドル=110円  
⇒1210万円を使って1200万円を返済  
(その後環境変化)\$11万受取・\$1=100円  
⇒1100万円しかないので1200万円返済できない

(ケース2)借入XとYをスワップ取引

企業A  
借入Y:円建て「1年後1200万円返済」  
⇒1200万円を返済

企業B  
借入X:ドル建て「1年後\$ 11万返済」  
受け取った\$ 11万で返済

図A6-4 日本のデリバティブ取引(残高)



出典：日本銀行「デリバティブ取引に関する定例市場報告」

注：海外で行われた取引も含む。店頭市場分のみの数値。調査先数の変更等により、2005年6月期、2007年12月期、2009年6月期において図に段差が生じている。

表A6-3 様々なデリバティブ取引(種類別残高、2013年12月末時点)

外国為替関連		金利関連		株式関連		商品関連	
合計	6.231	合計	44.294	合計	0.117	合計	0.017
フォワード・為替スワップ	3.088	フォワード	2.798	フォワードおよびスワップ	0.045	フォワードおよびスワップ	0.011
通貨スワップ	1.953	金利スワップ	37.289				
オプション取引 合計 (ロング+ショート)	1.189	オプション取引 合計 (ロング+ショート)	4.207	オプション取引 合計 (ロング+ショート)	0.071	オプション取引 合計 (ロング+ショート)	0.006

単位:兆ドル(アメリカドル)

出典:日本銀行「デリバティブ取引に関する定例市場報告」